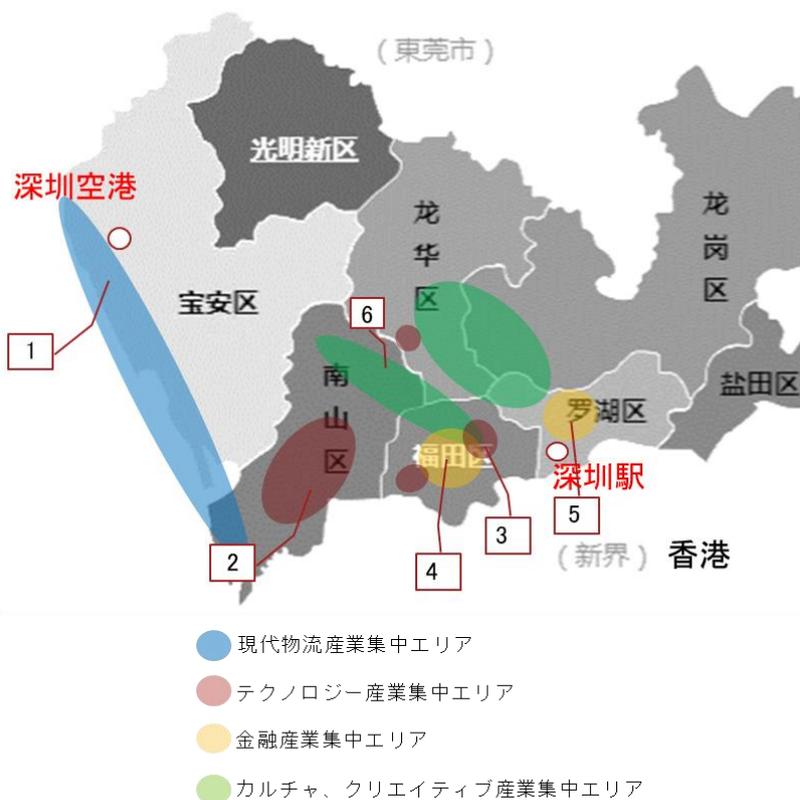


データが語る深圳の素顔⑦：市の中心福田区、ハイテク、金融が集積

当社の再開発予定地がある深圳市福田区はもともとは市の中心から外れていたが、人民政府オフィスが隣の羅湖区から移ってきたことで大きく変わった。区内にはアジア最大の陸運貿易港（入出国検査場）やアジア最大の地下鉄駅「福田駅」があり、貨物と旅客の運輸の中核となっている。香港へは電車で15分、広州までは新幹線で約30分の位置にある。産業集積は市内の南西地区に集まっているが、福田区はハイテク産業、金融産業の二本柱に加え、カルチャー、クリエイティブなどの文化産業も集中、いまやビジネス+ファッションの中心地の様相をみせている。

深圳の各産業集中エリアマップ



各エリアの特色と主要企業

[1] 大手物流企業の運営本部、物流センター、
対外貿易トランスファーセンターが集中

代表企業：順豊物流、FedEx、中国外運、UPS

[2] 中国資本のハイテック企業、外資テクノロジー
企業の中国/アジア本部、研究開発センター、
インキュベーションセンター、生産工場が集中

代表企業：ZTE、テンセント、TCL、スカイワ
ース、中国科学技術研究院（政府機構）、迅雷（サ
ンダー）

[3] 電子デバイス、インターネット関連、イノ
ベーションベンチャーの本部、研究開発、販売部
門が集中

[4] 中国本土銀行、外資系銀行、保険企業、
PE/VCの中国/アジア本部が集中

代表企業：中国招商銀行、中国平安保険、中海不
動産

[5] 外資系小売大手、信託企業、資産運用企業
などが集中

代表企業：コニカミノルタ、ターゲット、サヴィ
ールズ

[6] デザイン関連、建築設計関連企業、クリ
エイティブアトリエが集中